

知って役立つ奥日光ハイキング知恵袋

マナー編

・【挨拶は最小限で】散策道は静かに歩きましょう。

奥日光は多くの人が自然を楽しみに訪れます。

自然の中で静けさに心癒され、鳥のさえずりや沢の音を楽しむ人も多くいます。

例えば100人で行動しているとき、通り過ぎる人に全員が【こんにちは】と挨拶すると、

通り過ぎる人は100回の挨拶を聞くこととなります。

登山をしている時など、1時間に数人としか人に合わないような場合では挨拶は大切ですが、多くの人が行き来する時期に団体で行動している場合、挨拶やお礼は言葉ではなく会釈をするなど態度で感謝を伝えましょう。

・ 格好いい例

・ 狭い遊歩道で道を譲ってもらった時に、先頭の人代表してお礼を言い速やかに通り過ぎる。

・ 釣りや写真を撮っている人を遠目に見ながら【どんな魚が釣れるんだろう？】【どんな写真が撮れるんだろう？】と想像して、いつか自分もやってみたいなあ…と、将来の楽しみを見つけ旅を続ける。

・ 格好悪い例

・ 狭い遊歩道で道を譲ってもらった時に、全員が元気よく大きな声で【ありがとうございました】と言って通り過ぎる。

・ 釣りや写真を撮っている人に、【大物釣れましたか？】【良い画撮れましたか】と声をかける。

学校や日常生活では社交的で良いと思われる行動も、奥日光では場違いな行動になってしまう場合があります。

山のルールを知り、格好良く奥日光を楽しみましょう。

・【基本はのぼりが優先】ですが・・・

遊歩道で前から人が来てどちらかが道を譲らないといけな場合、基本的にはのぼりが優先となります。

しかし上から来たグループのほうが明らかに人数が多い時などは、自分が避けたほうがスムーズに通行できる場合もあります。

判断基準はいかに【安全に】【スムーズに】【気持ちよく】通行できるか。

譲った方も、譲られた方も気持ちよく通行できるように、やさしい気持ちをもってハイキングを進めましょう。

以前、店の前で怒られている児童を見ました。

原因は道を譲る譲らないで他校の児童と喧嘩になったとのこと。

喧嘩になりそうだったら・・・じゃんけんでもして円満に解決してください。

・【落ち葉1枚】持って帰っちゃダメ！！

奥日光は国立公園です。

環境を保護する為に国が管理している場所で、木を1本切り倒す場合も国の許可がいる場所です。

もっと言えば、落ち葉1つ持ち出すにも、国の許可が必要です。

自然公園法にはこのような条文があります。

第21条3項2号・7号

木竹を損傷すること。

木竹以外の植物を採取し、若しくは損傷し、又は落葉若しくは落枝を採取すること。

そして、この行為を行うと

第83条3項に該当し、六月以下の懲役又は五十万円以下の罰金に処されます。

落ち葉1枚拾って50万円払うんじゃバカバカしいですね。

奥日光のルールを守ってハイキングを楽しみましょう。